



## HELP をサポートする団体

### 住環境の整備 ～ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン～

私は、ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンという国際 NGO 団体の学生支部に所属しています。普段私たちは夏休みと春休みの長期休みを利用して主に東南アジアの貧困地域に赴き、住居建築活動を行なっています。海外での活動だけでなく、国内でも住居支援活動を行っており、その活動の一環として、女性の家 HELP で施設の清掃などを中心にお手伝いさせていただきました。

施設へ到着して最初に驚いたのは、セキュリティの高さでした。この施設で暮らす方々は皆何か事情を抱えて避難されている。そんな女性のための施設だからこそのセキュリティなのだ知り、なんとなくふわふわした気持ちが締まったのを覚えています。施設の奥の小さな部屋で、施設の説明や、活動の内容などを説明していただき、床の掃除とワックスがけを中心に行いました。洗濯物干し場を掃除している時、施設で暮らす外国籍の親子さんに出会いました。私たちは「おはようございます」と優しく声をかけましたが、少し怯えたようにしながら会釈をし、洗濯物を干し、去っていきました。想像はしていたけれど、思っていた以上に複雑な気持ちになってしまいました。しかし、その後に出会った男の子のおかげで、自分の中で変化がありました。その子はまだまだ小さく遊び盛りで、私たちが遊んでくれると分かれると、とても嬉しそうに無邪気に笑っていました。私たちも思わず笑ってしまうくらいキラキラした笑顔でした。ここで暮らす方々は心に深く傷を負ってしまっているため、なかなか心から笑うことが難しいのだと思います。しかし子どもたちの笑顔には自然と笑みがこぼれるのではないかと、安らぐ瞬間があるのではないかと思いました。

私たちに出来ることというのは限られています。直接女性の方々を救うことは出来ないかもしれませんが、私たちが施設を訪れ、交流することで、少しでも笑ってもらえる瞬間があればと強く思いました。だから私は今後もお手伝いさせて頂ける機会があれば参加し、HELP の職員さんと来られる方々の力になりたいなと思います。

ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパン  
ボランティア 吉川さくら【神田外語大学】

## 活動報告

### HELP お出かけプロジェクト①

#### ◎ 品川アクアパーク

7月24日、総勢8名で品川アクアパークのイルカショーを楽しんできました。入口すぐのところにある水槽は、表面がモニターになっていて、触ると画面が変わる不思議な水槽でした。一行はこの水槽に相当な時間魅惑されていました。その奥に、海底を思わせる真っ暗な空間に電飾で彩られたメリーゴーランドが出現、大人もメリーゴーランドに乗り、つかの間のマーメイド体験を楽しみました。イルカショーではビニールコートを着て最前列に陣取るA君、びしょ濡れになりながらも、元気な6頭のイルカのしなやかなジャンプに目を丸くして楽しんでいました。

